

- 幼児が送迎バスの車内に取り残され、熱中症等により死亡する事故が発生。



2021.7 5歳男児死亡(福岡県)



2022.9 3歳女児死亡(静岡県)

※幼児バスに園児を残し車を離れたことがこの1年である 15人/267人(5.6%) (三洋貿易調べ)

- 乗用車においても、パチンコ店や自宅駐車場等での幼児置き去り事例や死亡事故が発生。



2022.11 2歳女児死亡(大阪府)

※パチンコ店駐車場等での車内置き去り事例が年間99件(135人)発生

(令和元年度子供の事故未然防止事案報告 全日本遊技事業協同組合連合会より)

車内の幼児置き去り防止対策

国会での質疑

国土交通委員会(R4.11.9 衆)において、以下のとおり政府方針を答弁

問:

乗用車の子供の置き去り対策については、欧州では、新車アセスメントプログラム(ユーロNCAP)において、置き去り防止装置に対する評価が令和5年(2023年)から導入される予定と聞いている。日本の自動車アセスメント(JNCAP)においても導入を検討すべきではないか。 【神津たけし君(立憲)】

答弁:

- ご指摘のとおり、欧州では、乗用車で置き去り事故等が発生していることから、自動車アセスメント※(ユーロNCAP)において、幼児置き去り防止装置の評価を2023年から開始する予定と承知しております。
- 我が国においても、子どもの命を守ることは重要であることから、乗用車における置き去り事故の実態等を踏まえ、置き去り防止装置についても自動車アセスメントの対象に加えることを検討して参ります。

【西田政務官(国土交通省)】

今後の方針

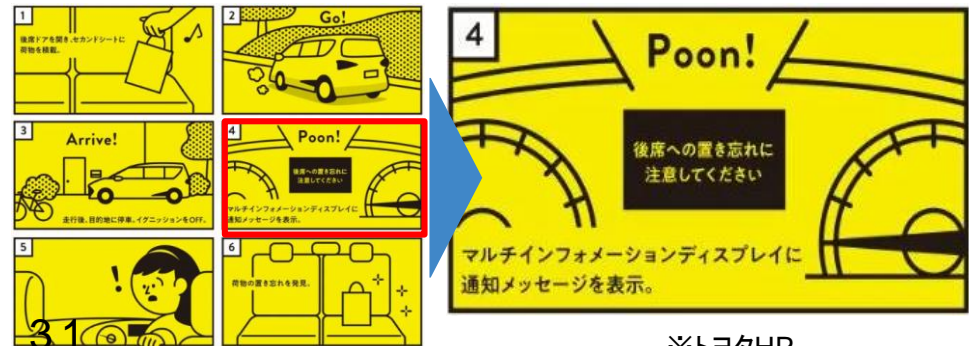
今後、以下について検討したい。

- 置き去り事故の防止に資する装置について、ユーザーへ情報提供。
- 対象装置には、同乗者の有無を直接検知し警報等を実施するものだけでなく、間接的に検知するものも含める。
- 得点算出は行わず、搭載されている装置名や機能を情報提供する。

(対象装置の例)

・リアシートリマインダー

車内に乗り込む際、後席ドアを開閉されたことを記憶。
車両停止(電源OFF)した際、メータ等で「注意喚起」を実施する。



※トヨタHP